

平成 27 年 8 月 27 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「資源ツインαファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」  
基準価額の下落について**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と「資源ツインαファンド(通貨選択型)ブラジルリアルコース」(以下、「当ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 当ファンドへの影響

ファンド名	平成 27 年 8 月 26 日 基準価額(円)	平成 27 年 8 月 27 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
資源ツインαファンド(通貨選択型) ブラジルリアルコース	5,557	5,257	▲300	▲5.40

(小数点第 3 位四捨五入)

## ◆ 市況情報

	平成 27 年 8 月 25 日	平成 27 年 8 月 26 日	騰落率 (%)
原油先物価格	39.31	38.60	▲1.81
金先物価格	1,138.20	1,124.60	▲1.19

(小数点第 3 位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、8 月 25 日と 8 月 26 日と比較しています。

原油先物はWTI原油先物、金先物はCOMEX金先物の価格を使用しています。

原油先物価格の単位は米ドル/バレル、金先物価格の単位は米ドル/トロイオンスです。

	平成 27 年 8 月 25 日	平成 27 年 8 月 26 日	騰落率 (%)
ブラジルリアル(対米ドルレート)	0.283	0.275	▲2.80
米ドル(対円レート)	119.91	119.18	▲0.61

(小数点第 3 位四捨五入)

為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレートです。

各レートについては基準価額への反映を考慮し、8 月 25 日と 8 月 26 日と比較しています。

出所:ブルームバーグ

## ◆ 足許の状況

8 月 26 日の原油先物市場は、ガソリンの在庫増や中国経済の減速懸念などを背景に、原油に対する需給が悪化するとの見方が強まったため下落しました。

金先物市場は、米国の 7 月の耐久財受注が市場予想を上回ったことなどを背景に、米ドル高が進行したために、米ドルの動きと逆行しやすい特性から下落しました。

ブラジルリアルの対米ドル為替レートは、ブラジル国内の政局不安や世界の株式市場の軟調な動きに対するリスク回避的な動きが強まっていることなどを背景に、下落しました。

上記のような市場環境下、当ファンドの基準価額は前日比で 5%を超えて下落しました。

## ◆ 今後の見通し

原油先物市場について、当面は各国の需給バランスなどに応じて、値動きの激しい相場展開となることが想定されます。しかし、多くの産油国で足許の原油価格が産出損益分岐点に近づいており、採算割れでの増産は想定し難いことや、中国経済の減速に対する懸念などが市場に相当程度織り込まれてきていると思われます。今回の急落が、主に短期的なリスク回避の動きによってもたらされたものであると考えられることから、市場の過度なリスク回避姿勢が和らげば、再び底堅い値動きになるとみています。

金に対する需要は弱含んでいるものの、世界的に金融市場や景気動向が不安定な状況にあることから、米国の利上げ時期がやや遠のいたとみられ、米ドルの上昇スピードも緩慢となり、金価格も安定した動きになるとみています。

ブラジルリアルに関しては、足許でおきている政局不安が直ぐに払拭するとは考えがたいですが、2002 年以来的の安値水準まで急速に近づいており、ブラジルの中央銀行によるブラジルリアル買いの介入が継続されていることもあり、やや下げ過ぎ感が強いとみています。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメント株式会社が投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。

## ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

### ◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

#### 「価格変動リスク」「為替変動リスク」「カバードコール戦略に伴うリスク」「スワップ取引に伴うリスク」

- ・ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

### ◎その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 分配金に関する留意点
  - ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  - ・ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  - ・ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

## ファンドの費用

### ■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 <b>4.32% (税抜 4.0%)</b> を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.5%</b> の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

### ■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>【ファンド】: 毎日、ファンドの純資産総額に<b>年1.3824% (税抜1.28%)</b>の率を乗じて得た額とします。</p> <p>【投資対象とする外国投資信託】: 外国投資信託の純資産総額に対し、年0.5425%程度</p> <p><b>実質的な負担: 年1.9249% (税抜1.8225%) 程度</b></p> <p>ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p>
その他の 費用・手数料	<p>【監査費用】</p> <p>毎日、ファンドの純資産総額に年 0.00756% (税抜 0.007%) の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。</p> <p>【その他】</p> <p>証券取引に伴う手数料、ファンドに関する租税、信託事務処理に要する費用等をファンドでご負担いただきます。また、組入外国投資信託においても、証券取引・オプション取引等に伴う手数料、その他ファンドの運営に必要な各種費用等がかかります。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

\* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
 \* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

## 販売会社の名称等

販売会社	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
エース証券株式会社	金融商品 取引業者 近畿財務局長(金商) 第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第44号	○		○	○
マネックス証券株式会社	金融商品 取引業者 関東財務局長(金商) 第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	金融商品 取引業者 東海財務局長(金商) 第20号	○			

- ・加入協会に○印を記載しています。
- ・株式会社SBI証券は、マネープールコースのお申込は受付けておりません。